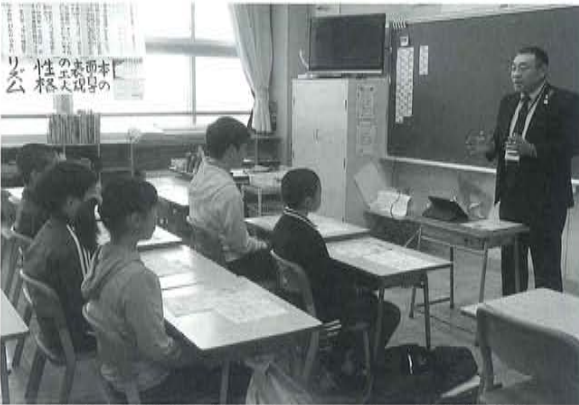


しべつ 社協だより

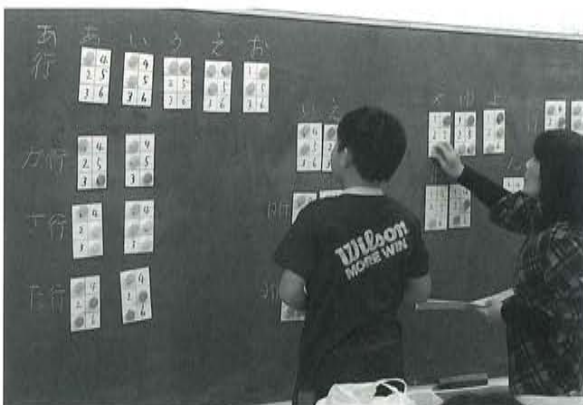
平成30年5月15日発行 社会福祉法人 士別市社会福祉協議会 士別市東5条3丁目 サポートセンターしべつ内(TEL22-3012)
<http://www.shibetsu-shakyo.jp/>



「赤い羽根共同募金について」 士別小学校
 士別市共同募金委員会



「誰もが楽しめるアダプテッドスポーツを 体験しよう~ポッチャ」 士別東高校
 道北車イスの会
 障がい者の地域生活を支援する会



「ノーマライゼーションって何？」 糸魚小学校
 目の不自由な方の生活を知ろう~点字体験
 三橋ヒロミ氏、平賀尚子氏

自治会・学校・団体等ぜひ活用下さい！ 「社協出前講座」

士別市社会福祉協議会では、自治会や学校、団体、グループを対象に、地域での福祉活動の推進、福祉のまちづくりや社会福祉協議会の活動を知っていただくことを目的に、職員が出向いて事業の説明等をする出前講座を実施しております。お申し込みやご相談の際は、上記社協事務局までお気軽にお問い合わせ下さい。

〈テーマ例〉

- 高齢者福祉について
- 介護保険制度について
- サロンについて
- ボランティアについて
- 日常生活自立支援事業・成年後見制度について
- 赤い羽根共同募金について
- バリアフリー・ノーマライゼーションについて
- 福祉パトロールについて

※費用は無料ですが、社協職員以外の講師をご紹介させていただく際は、謝金等をご相談させていただく場合があります。

平成30年度 士別市社会福祉協議会事業計画

士別市社会福祉協議会は、「共に生き、共に育み、安心して暮らせる福祉社会を目指して」の基本理念に基づき、高齢者や障がい者が、安心して生活できる地域づくり、若い世代が安心して子育てできる環境づくりなど、市民の方々が健康で、幸福な生活が送れるよう、社会福祉活動を次のとおり推進します。

在宅福祉事業の推進

- 施設入浴サービス事業
- 福祉パトロール事業
- 在宅介護支援センター運営事業
- 権利擁護事業
(日常生活自立支援事業・成年後見制度の研修)
- 特定施設入居者生活介護ヘルパー派遣事業

ボランティア活動の推進

- 士別市福祉ボランティアのまちづくり事業
- 士別市ボランティアセンターの運営事業
- 学童生徒のボランティア活動普及事業
- 子供の心を育む福祉教育推進事業
- 福祉・ボランティア団体助成事業
- 収集ボランティア活動

ノーマライゼーション事業の推進

- ふれあい広場'2018 inしべつPART35開催
- 福祉の店「シュベツ」運営事業

福祉援護事業の推進

- 歳末たすけあい見舞事業
- 老人安全杖贈呈事業
- 火災・水害等災害見舞事業
- 生活福祉資金貸付事業
- 声の図書貸出事業
- 心配ごと相談所運営事業



管理運営・受託事業等

- サポートセンターしべつ管理運営事業
- 老人クラブ交流等事業

地域福祉事業の推進

- 小地域ネットワーク推進事業
- 士別市サロン開催支援事業
- 福祉・ボランティア団体助成事業
- 災害に強い地域づくりの推進
- 総合相談事業の推進
- 社協支部活動の充実
- ふれあい昼食会の開催
- 第3期地域福祉実践計画の策定

介護保険事業の推進

- 訪問介護事業
(老人ホームヘルプ事業)
- 訪問入浴事業
- 居宅介護支援事業
(ケアプラン作成)
- 障がい者総合支援事業
(身体・知的・児童・精神ホームヘルプ事業)

広報活動の充実

- 社協だよりの発行
- ボランティアセンターだよりの発行
- ホームページによる情報提供
- ボランティアネットワークの発行
(朝日支部だよりの発行)
- 出前講座の開催事業



平成30年度 士別市社会福祉協議会資金収支予算

資金収支予算総括表

(単位：千円)

勘定科目		予算額	
事業活動による収入	会費収入	2,261	
	寄付金収入	6,500	
	経常経費補助金収入	30,590	
	受託金収入	14,600	
	介護保険事業収入	61,549	
	障害福祉サービス等事業収入	9,660	
	その他の事業収入	3,105	
	受取利息配当金収入	16	
	その他の収入	249	
	事業活動収入計(1)	128,530	
	支出	人件費支出	98,171
		事業費支出	20,375
事務費支出		11,267	
共同募金配分金支出		1,300	
助成金支出		7,505	
事業活動収入計(2)	138,618		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△10,088		
施設整備による収入計(4)	0		
施設整備による支出計(5)	2,820		
施設整備資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 2,820		
その他の活動による収入計(7)	16,489		
その他の活動による支出計(8)	7,161		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	9,328		
予備費(10)	100		
当期資金収支差額(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 3,680		
前期末支払資金残額(12)	35,090		
当期末支払資金残額(11)+(12)	31,410		

事業費内訳

(単位：千円)

事業名	予算額
法人運営事業	27,688
地域福祉推進事業	5,283
共同募金配分事業	3,812
サポートセンターしべつ管理運営事業	2,321
福祉パトロール事業	1,955
老人クラブ交流等事業	9,199
訪問介護事業	31,862
入浴事業	15,578
居宅介護支援事業	26,655
権利擁護事業	4,177
合計	128,530

土曜ボランティア学習塾「さぼてん」 塾生募集!!

士別市ボランティアセンターでは、主に毎月第2土曜日の午前中、土曜ボランティア学習塾「さぼてん」を開催しています。

「さぼてん」では、ボランティアの体験学習や情報交換を継続的に行っています。

対象は、中学生・高校生のボランティア活動に関心のある方で、参加料は、無料です。

具体的な内容については、みんなで話し合っ
て決めています。例年の取り組みとして旭山動物園の障がい者介助活動、児童館の子どもたちとの交流などを行っています。

中学生・高校生の皆さんの参加をお待ちしています。

「生活福祉資金貸付制度」

「生活福祉資金貸付制度」は、他の貸付制度が利用できない低所得世帯や障がい者世帯、高齢者世帯に対し、資金の貸し付けと必要な相談・支援により、経済的自立及び生活の安定を目的としています。

●ご利用いただける世帯

1. 低所得世帯

資金の貸し付けにあわせて必要な支援を受けることにより、自立自活できると認められる世帯であって、自立自活に必要な資金の融資を他から受けることが困難であると認められる世帯。

3. 障がい者世帯

①身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかの交付を受けている方の属する世帯。
②障害者総合支援法によるサービスを、利用している方の属する世帯。

2. 高齢者世帯

65歳以上の高齢者の属する世帯（福祉資金については、日常生活上、療育または介護を要する高齢者が属する世帯に限る。）

■貸付金の種類

1. 総合支援資金
2. 福祉資金（福祉費・緊急小口資金）
3. 教育支援資金
4. 不動産担保生活資金

※①他の公的資金貸付制度を利用することが可能な場合は、他制度をご利用いただけます。

②貸し付けにあたり民生委員の相談支援が必要です。③「連帯保証人」が必要です。

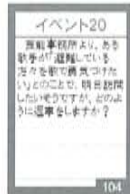
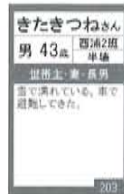
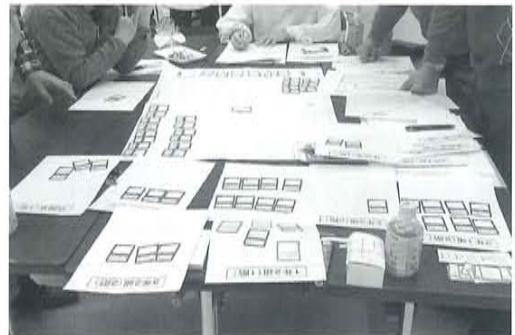
※本資金の詳細、ご不明な点、ご相談は士別市社会福祉協議会までお問い合わせ下さい。

ボランティアセンター『掲示板』

3月17日、平成29年度第2回市民ボランティアスクールにて、北海道版避難所運営ゲーム「DoHUG」の体験、研修会を開催しました。講師は上川総合振興局の原義洋氏。「DoHUG」とは、いつどんな災害が起きるか判らない日本。北海道も例外ではなく、災害発生時からの避難所運営を「カードゲーム」を通して疑似体験し地域防災の課題を見つけ出し、実際に災害が起きた時に短時間で最善策を判断する訓練です。

ゲームの進め方は、避難者に見立てたカードを避難所の平面図に配置していくもので、認知症の方、濡れた体で逃げてきた方、乳幼児など、様々な事情の人が集まってきます。その人たちを、「避難所のどこに配置するか?」「どのような事に気を付けるべきか?」例えば、「おにぎりや毛布が届く。どのように配布するか?」「気温が下がる」「トイレが汚いとのお苦情」・・・。また、車内で避難する被災者には「エコノミー症候群」の恐れがあったり、「インフルエンザを発症している人のいる一家はどう避難させるか?」など状況によっては人の命に関わる部分もあり最初は慣れない中、時間をかけ振り分けしていましたが、色々なことを考えテキパキと行えるようになりました。

参加者からは「避難所を運営する上での判断は大変、防災について考えるよききっかけになった」との声もあり、3時間があっという間に過ぎ、充実した研修となりました。



情報提供
これからのゲーム設定です
一目見ただけで、引込み、音が鳴って、おにぎりがなくなってきた。部屋の隅に避難の用意は2階のい、徐々に下がっています。

49

士別市ボランティアセンターで 集めています



当ボランティアセンターでは、**使用済み切手やテレホンカード**などのフリビイドカード、書き損じハガキなどをお預かりし、枚数の整理をしたあと更に下記団体に郵送して役立ててもらっています。

士別市ボランティアセンター

使用済み切手・カード

たくさんの方に福祉の理解を深めてもらえるよう活動しています。
☆収集の注意点☆
切手を封筒からはがさず、切手とスタンプ(受付印)が残るように、周りを約1cm残して切り取って下さい。

誕生日ありがとう
運動本部へ

「収集ボランティアサークルひまわり」さんが整理・集計してくれています

書き損じはがき

身体に障がいをもつ方が安心して生活していくための支援活動をしています。

札幌いちご会へ

リンクフル

車いすを購入する資金にしています。

北海道新聞
西出版売所へ

道新西出版売所さんから、「フルネット」(江別)という団体へ寄付しています

ペットボトルキャップ

世界の子供たちのワクチンなどの医療支援などに役立てられています。

世界の子どもに
ワクチンを
日本委員会(JCV)へ

ベルマーク

1点1円で換金し、各地の教育関連の支援資金として役立てられています。

やまびこ
ネットワークへ

今までの主な寄付：
ネパール地震被災地
熊本震災被災地 など

ボランティアさん募集

ふれあい広場 '18 IN しべつPART35

「で愛 ふれ愛 かたり愛」

～あふれる笑顔 みんなが主役～

○「ふれあい広場」を一緒に作りませんか？ 実行委員の募集

「ふれあい広場」は、障がいの有無や年齢にとらわれず、市民の交流の場として参加者全員でつくりあげていく「広場」です。

当日は、点字教室や、盲導犬歩行、アダプテッド（障がい者）スポーツをはじめとした体験コーナー、ふれあいコンサート等を行います。

実行委員として協力していただける方を募集しています。関心のある方は、下記事務局までお申し込みください。



【開催日時】

7月7日(土) 12:00～16:00

(ふれあいの夕べ) 17:30～19:00

8日(日) 10:00～14:30

【開催場所】

士別市総合体育館と駐車場（東4条4丁目）

○ふれあいステージ背景画の原画募集

ふれあい広場メインステージ背景画の「原画」を募集します。

テーマは指定していませんが、ふれあい広場のイメージで描いてください。

原画は、縦16.5cm×横45cmサイズの画用紙全体に描いたもので、**5月25日(金)までに**、実行委員会事務局へお届け下さい。



▲昨年度の背景画

○ふれあい標語の募集

広く市民に親しまれる『福祉標語』を募集します。標語は、**6月8日(金)までに**ハガキやFAXで送付いただくか、実行委員会事務局へお届け下さい。

※応募は1人1点までです。

お問い合わせ

ふれあい広場 '18 IN しべつPART35 実行委員会事務局

士別市東5条3丁目1-1 サポートセンターしべつ内

TEL22-3012 FAX22-3019

